

奈良県大和高田公共職業安定所地域雇用開発計画

令和6年3月
奈良県

(2) 雇用開発促進地域とする理由

当地域は、雇用開発促進地域として地域雇用開発のための措置を講じ、地域の労働者の雇用の安定と、活力ある地域社会の発展に資する必要がある。

ア 自然的経済的社会的条件

西を大阪府に接し、奈良県の西部に位置する当地域は、南北に京奈和自動車道、国道24号、国道168号、東西に南阪奈道路、国道25号、国道165号などの道路が走っている。また、鉄道についても、JR関西本線・和歌山線や、近鉄大阪線・南大阪線・橿原線などが通っており、多くの人々が通勤・通学・買い物等で利用し、地域経済、社会的な面で一体的な地域である。

イ 地域の求職者の状況

労働力人口（令和2年国勢調査）に対する、最近3年間（令和3年～5年）の一般有効求職者数の月平均値の割合は3.2%となっており、全国数値の3.2%と同率となっている。

表1 最近3年間の一般有効求職者数等の状況

区 分		全 国		当地域
労働力人口 (R2 国勢調査)	R 2 年	人 59,949,767		人 193,942
	R 3 年	1,948,739		6,218
一般有効求職者数 (月 平 均)	R 4 年	1,935,780		6,251
	R 5 年	1,909,683		6,415
労働力人口に対する最近3年間の 一般有効求職者数の月平均値の割合		3.2 %	≦	3.2 %

(出所：奈良労働局)

ウ 地域の求人の状況

当地域の最近1年間（令和5年）における常用有効求人倍率の月平均値は0.82倍となっており、全国の同月平均数値の3分の2（全国平均1.24倍の3分の2である0.83倍）以下となっている。

表2 最近3年間及び最近1年間の有効求人倍率の状況

区 分		全 国 a	基準値		当地域
			b=a×2/3		
一 般 有 効 求 人 倍 率	最近3年間	1.24	0.83	<	0.98
	最近1年間	1.31	0.87	<	0.95
常 用 有 効 求 人 倍 率	最近3年間	1.17	0.78	<	0.85
	最近1年間	1.24	0.83	>	0.82

（出所：奈良労働局）

○一般：常用及び臨時・季節を合わせたものをいう。

※臨時とは、雇用契約において1か月以上4か月未満の雇用契約期間が定められている仕事をいい、季節とは、季節的な労働需要に対し、又は季節的な余暇を利用して一定の期間（4か月未満、4か月以上の別を問わない。）を定めて就労するものをいう。

○常用：雇用契約において雇用期間の定めがないか又は4か月以上の雇用期間が定められているもの（季節労働を除く。）をいう。

エ 地域雇用開発のための措置を講ずる必要性

当地域の有効求人倍率は全国平均を大きく下回っているが、当地域の事業者の多くは、原材料費、輸送費、電気・エネルギー費、人件費の高騰等によるコスト増を納品価格に反映することが難しい下請中小企業であり、経営基盤が脆弱なため、雇用者を確保することが困難な状態となっている。

このため、当地域において、地域の特性に応じた魅力ある雇用機会の創出を通じて良好な雇用の場を提供し、雇用構造の改善を図ることが必要であるため、その一環として、法第3章に定める地域雇用開発のための助成、援助等の措置を講ずる必要がある。

【参考】地域の労働力の需給状況その他雇用の動向

（1）労働力人口の動態

当地域の令和2年国勢調査での労働力人口は193,942人である。平成27年から令和2年の労働力人口の推移を見ると、増減率は2.4%減となっており、奈良県全体の3.7%減よりやや小さい減少幅となっている。

また、労働力率を見ると、当地域では57.7%となっており、県全体の56.6%を上回っている。

表3 労働力人口の推移

(単位:人)

市町村名	平成27年		令和2年		労働力人口 増減率 (C-A)/A×100	令和2年 労働力率 C/(C+D)×100
	労働力 人口 (A)	非労働力 人口 (B)	労働力 人口 (C)	非労働力 人口 (D)		
大和高田市	30,587	24,426	29,519	20,889	-3.5%	58.6%
橿原市	56,532	43,076	54,466	37,239	-3.7%	59.4%
御所市	11,723	11,871	10,522	9,993	-10.2%	51.3%
香芝市	33,903	25,974	33,520	23,295	-1.1%	59.0%
葛城市	16,772	13,572	17,123	11,889	2.1%	59.0%
高取町	3,038	3,343	2,784	3,021	-8.4%	48.0%
明日香村	2,639	2,338	2,475	2,138	-6.2%	53.7%
上牧町	9,225	8,984	9,379	8,650	1.7%	52.0%
王寺町	10,758	8,596	11,259	8,081	4.7%	58.2%
広陵町	16,014	11,553	16,089	10,575	0.5%	60.3%
河合町	7,489	7,908	6,806	6,694	-9.1%	50.4%
地域計	198,680	161,641	193,942	142,464	-2.4%	57.7%
奈良県	621,323	518,972	598,156	457,742	-3.7%	56.6%

(出所:総務省「国勢調査」)

(2) 就業の構造

当地域の令和2年国勢調査による就業人口は、207,545人であり、産業別人口の割合は、第一次産業が1.6%(県全体:2.4%)、第二次産業が24.9%(同:22.1%)、第三次産業が73.5%(同:75.5%)となっており、県全体に比べて第二次産業の比率が高く、第一次産業及び第三次産業の比率が低くなっている。

また、就業人口を平成27年国勢調査と比べると、第一次産業で3.6%減(県全体:9.1%減)、第二次産業で0.7%減(同:3.3%減)、第三次産業が6.7%増(同:4.2%増)となっている。

表4 産業別15歳以上の就業者数の推移

(単位:人)

区分	当地域				奈良県				
	H27	R2	増減率	構成比	H27	R2	増減率	構成比	
			H27~2	R2			H27~R2	R2	
第一次産業	農業	3,253	3,130	-3.8%	1.5%	15,331	13,993	-8.7%	2.2%
	林業	112	113	0.9%	0.1%	991	855	-13.7%	0.1%
	漁業	6	7	16.7%	0.0%	101	77	-23.8%	0.0%
	計	3,371	3,250	-3.6%	1.6%	16,423	14,925	-9.1%	2.4%
第二次産業	鉱業	25	15	-40.0%	0.0%	43	41	-4.7%	0.0%
	建設業	12,905	13,305	3.1%	6.4%	38,174	37,815	-0.9%	6.0%
	製造業	39,196	38,416	-2.0%	18.5%	106,064	101,637	-4.2%	16.1%
計	52,126	51,736	-0.7%	24.9%	144,281	139,493	-3.3%	22.1%	
第三次産業	サービス業	134,776	144,118	6.9%	69.4%	432,642	451,385	4.3%	71.5%
	公務	8,137	8,441	3.7%	4.1%	25,119	25,703	2.3%	4.1%
	計	142,913	152,559	6.7%	73.5%	457,761	477,088	4.2%	75.5%
計 就業者数	198,410	207,545	4.6%	100.0%	618,465	631,506	2.1%	100.0%	

(出所:総務省「国勢調査」(不詳補完値による。))

(3) 労働力の需給状況

ア 常用有効求人倍率の動向

当地域の常用有効求人倍率の令和5年月平均値は0.82倍で、令和元年の1.05倍から低下傾向にあり、県平均値の1.03倍を下回っている。最近6箇月の常用有効求人倍率においては、数値は上昇傾向にあるが、県全体と比較して低い値にある。

表5 最近5年間の常用有効求人倍率の月平均値（新規学卒・パートを除く）

(単位：人)

	区 分	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	
当地域	有効求職者数	39,937	42,317	43,220	43,207	43,983	
	月平均値①	3,328	3,526	3,602	3,601	3,665	
	有効求人数	41,945	36,311	37,037	37,829	36,171	
	月平均値②	3,495	3,026	3,086	3,152	3,014	平均
	有効求人倍率②/①	1.05	0.86	0.86	0.88	0.82	0.89
奈良県	有効求職者数	118,751	124,010	126,019	126,754	127,821	
	月平均値①	9,896	10,334	10,502	10,563	10,652	
	有効求人数	149,361	129,694	132,563	138,102	132,206	
	月平均値②	12,447	10,808	11,047	11,509	11,017	平均
	有効求人倍率②/①	1.26	1.05	1.05	1.09	1.03	1.09

(出所：奈良労働局)

表6 最近6箇月間の常用有効求人倍率（新規学卒・パートを除く）

(単位：人)

	区 分	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12
当地域	有効求職者数①	3,780	3,701	3,629	3,524	3,442	3,284
	有効求人数②	3,064	3,044	2,981	3,081	2,979	2,979
	有効求人倍率②/①	0.81	0.82	0.82	0.87	0.87	0.91
奈良県	有効求職者数①	10,634	10,585	10,507	10,422	10,193	9,736
	有効求人数②	10,737	11,040	10,886	11,179	11,084	10,652
	有効求人倍率②/①	1.01	1.04	1.04	1.07	1.09	1.09

(出所：奈良労働局)

イ 離職者の動向

令和5年における当地域における雇用保険資格喪失者数は、前年比で5.7%増となっており、県全体の2.0%増を上回っている。

表7 雇用保険資格喪失者数

(単位：人)

区分	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
当地域	12,105	11,750	11,524	12,293	12,998
前年比	-2.1%	-2.9%	-1.9%	6.7%	5.7%
奈良県	43,328	44,097	43,648	42,868	43,738
前年比	-1.5%	1.8%	-1.0%	-1.8%	2.0%

(出所：奈良労働局)

ウ 年齢別求職・就職状況

令和5年の年齢別の雇用状況について、全年齢に対する35歳未満の月間有効求職者数の比率は、26.0%であるのに対し、就職件数の比率では、20.8%となっており、若年層での就職状況に厳しさが見受けられる。

表8 令和5年年齢別月間有効求職者数及び就職件数

(単位：上段・人、下段・%)

	月間有効求職者数(月平均)					就職件数(月平均)				
	計	35歳未満	35歳以上 45歳未満	45歳以上 55歳未満	55歳以上	計	35歳未満	35歳以上 45歳未満	45歳以上 55歳未満	55歳以上
当地域	6,426	1,671	1,053	1,371	2,331	413	86	73	95	159
	100.0%	26.0%	16.4%	21.3%	36.3%	100.0%	20.8%	17.7%	23.0%	38.5%
奈良県	18,672	4,681	3,063	3,883	7,045	1,217	251	205	269	492
	100.0%	25.1%	16.4%	20.8%	37.7%	100.0%	20.6%	16.8%	22.1%	40.4%

(注) 月間有効求職者数：令和5年の有効求職者数の月平均
就職件数：令和5年の就職者数の月平均

(出所：奈良労働局)

2. 地域の雇用開発の目標

計画期間内における地域雇用開発助成金を活用した雇用創出者数を20人とすることを目標とする。

3. 地域の雇用開発を促進するための方策

(1) 地域雇用開発の促進のための措置

ア 新たな雇用機会の開発の促進等

3- (2) 地域雇用開発の促進に資する県の取組に示すように、人材確保の抜本的強化、企業・工場用地確保と先進的なグリーン化、スタートアップへの新たな支援等、8本の柱からなる「新しい産業政策のパッケージ」に係る施策を推進する。

イ 職業能力開発の推進

当地域の企業の新規事業展開や生産性の向上、当地域への企業進出等に際して必要となる労働力の育成・確保、また、医療・福祉分野、建設分野等の人材不足分野における人材育成・確保に対応するため、公共職業訓練の一層の充実を図る。

ウ 労働力需給の円滑な結合の促進

県が大和高田市内及び奈良市内に設置している就業相談窓口「しごとiセンター」において、電話及び窓口等での就業全般にわたる相談や無料職業紹介等を行うとともに、公共職業安定所等の関係機関との連携のもと、広く情報収集を行い、きめ細やかなマッチングにより求職者の職場定着に努める。

エ 各種支援措置の周知徹底

地域雇用開発のために講じられる各種の施策について、事業主や求職者に対し周知を図るため、奈良労働局や関係機関と連携しながら、施策の情報を必要とする事業主への情報共有を行い、パンフレットの作成をはじめ、広報誌・ホームページなどの各種広報メディアや、事業主を対象とした研修会・イベント等を活用した広報活動を行う。

オ 地域雇用開発の効果的な推進

1) 奈良県雇用対策協定に基づく奈良労働局との連携

平成25年6月に奈良労働局との間で締結した「奈良県雇用対策協定」に基づき、奈良県の講ずる雇用施策や福祉・教育及び産業振興等と奈良労働局の雇用施策との密接な連携を進める。

2) 奈良県地域雇用推進協議会

令和4年4月に施行した「地域における多様な人材の育成、就労の促進及び再就職の支援に関する条例」に基づき、同年8月に設置した「奈良県地域雇用推進協議会」において、国、市町村及び関係団体等の構成団体と意見交換・情報共有を行い、地域における人材育成や就労促進等に関する施策を一体的かつ効果的に推進する。

(2) 地域雇用開発の促進に資する県の取組

以下に示す8本の柱からなる「新しい産業政策のパッケージ」に係る施策を推進する。
また、地域雇用開発助成金を活用することで、地域内での事業所の設置・整備に伴い地域内に居住する求職者を雇用する事業主を支援し、地域雇用機会の創出の促進等に努める。

1) 人材確保の抜本的強化

・子育て支援等により女性を含めたポテンシャルのある人材の活躍を推進するなど、

- 「住みやすく・働きやすい」を人手確保のインフラにする。
- ・県内企業と学生が継続的に交流できるプログラムや場を創出するなど、学生と企業をより深く・強くつなげる取組を実施する。
- ・企業ニーズを踏まえた雇用に確実につながるリカレント教育を実施する。

2) 企業・工場用地確保と先進的なグリーン化

- ・大和平野中央等の県有地を活用した企業立地を促進する。
- ・発掘調査におけるDXの推進や中長期的な発掘調査量の公表等により、文化財発掘調査の効率性・予見可能性を向上させる。
- ・県内初の「RE100 工業団地」に向けた調査を実施するなど、企業と連携した先進的なグリーン戦略を展開する。

3) 生産性向上と新規事業への強力な支援

- ・県内での投資を一層加速させるため、補助対象メニューを統合の上、補助上限額を引上げるなど、新しい企業立地促進補助金を導入する。
- ・産業分野を超えた研究体制の再構築と大学等の外部知見を導入するなど、産学官連携のための支援制度を拡充する。
- ・ドローンの利活用が期待される地域課題を検討し、飛行実証を実施するなど、企業による新規事業への支援を行う。

4) 行政対応の不満・ボトルネック解消

- ・相談等の窓口を一元化し、専任担当者による定期的な御用聞き（企業訪問）を実施するなど、県内企業と県庁との関係を強化する。
- ・県内企業からの相談や指摘等をCRM（顧客情報マネジメント）システムで一元管理し、庁内で共有するとともに、同システムを活用したタイムリーな企業支援情報やイベント等を発信・案内する。

5) 新たな成長のフロンティア（海外展開）

- ・ジェトロ奈良事務所に「海外展開サポートデスク」を設置するとともに、関係機関による海外展開サポートのネットワークを形成するなど、県内企業の「初めての海外展開」を重点支援する。
- ・越境ECを始めるための計画策定、テストマーケティング、本格販売までを支援するなど、海外展開に挑戦する企業を成功体験へと伴走支援する。
- ・権利保護・模造品対策のための外国出願について、国庫補助にあわせて支援するなど、県内企業の海外進出のリスクへの対応を支援する。

6) 重点的な外国人材の呼び込み

- ・地域における日本語教室の開設・運営等を支援するなど、在住外国人のニーズにあった生活環境を整備する。
- ・外国人留学生の県内企業への就職を支援するプログラムや、日本語能力向上に関する県内企業の取組に対する支援等を実施するなど、県内企業の外国人材の呼び込みや定着を支援する。

7) 企業価値を次世代につなぐ事業承継

- ・県事業承継・引継ぎ支援センターと連携強化し、専門家派遣などの支援により、事業承継のマッチングを加速する。
- ・県内企業で責任ある立場を担いたい若手人材とのマッチングを支援する。
- ・事業承継の手本となるような県内企業の功績・優良事例について情報発信するなど、優良事例の横展開を図る。

8) スタートアップへの新たな支援

- 地域で、スタートアップが生まれ、成長する、イノベーションが進む環境（エコシステム）をつくるため、奈良発のスタートアップのロールモデル（成功事例）を産み出す、産学官とスタートアップの連携促進、未来の起業家育成のためのアントレプレナーシップ教育（起業家教育）の3点に向けて、体系的な施策を打ち出す。
- 県内のスタートアップ企業に対して、これから奈良で起業する人の目標・ロールモデルとなるよう、更なる成長に向けた伴走支援を行う。
- 大学など県内アカデミアに対して、研究成果の事業化など、「学」のシーズを成長につなげる支援を展開するとともに、大学の研究と企業のニーズ・課題をマッチングさせ、研究成果の社会実装化を支援する。
- 県内企業に対して、企業が抱えている様々なニーズや課題について、大学とのマッチングに加え、スタートアップとのマッチングを支援し、事業展開や課題解決につなげる。
- 将来の起業家となる若者に対して、アントレプレナーシップ教育（起業家教育）を提供することで、起業意欲の向上を図る。

4. 計画期間

計画期間は厚生労働大臣の同意を得た日から3年間とする。